

令和7年度 横浜市南希望が丘地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

一総括表一

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当エリアである希望が丘地区・希望が丘南地区の高齢化率は30%は超えていませんが、生活上の相談件数は増加しています。担い手の高齢化も進み新たな人材が必要です。
今後の取組みとして、認知症でも安心して暮らせるまちを目指し、本人、家族だけではなく、地域住民の方たちやこれからを担う子供たちにも働きかけをし理解、啓発に努めます。子どもや保護者・地域住民同士の交流を様々な形で持てるように支援していきます。近隣施設・学校・企業等や、地域・行政などの機関と繋がりながら、お子さまから高齢者の方々、幅広い年齢層の方々に活用いただける施設づくりを推進していきます。
また、社会問題である8050問題、介護者の高齢化等、地域の高齢化に伴う課題にも目を向け、適切な機関や活動へのご紹介等、保険医療の向上と福祉の増進に取り組んでいきます。

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	地域住民が自身にマッチした地域活動団体を探すことができるAyamu(ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ)は知らない住民が多く、操作も高齢者などにはわかりづらいものになっている。それには地域の方への周知、検索事例などを用いた理解しやすいチラシを作成し関係機関に配置する。
■	<input type="checkbox"/>	地域ケアプラザが地域の様々な総合相談窓口であることをケアプラザ新聞等を通して周知しているが、特に子育てに関する困りごとや相談が少ない。引き続き周知を行うとともに、子育てに関する相談については自主事業の参加者にアンケートをとり、悩み事や相談する人が身近にいるか、また相談したいと思っているかなどのニーズを探っていく。
■	<input type="checkbox"/>	8050問題に直面した課題が急増している。地域とつながりがない一人暮らし男性のケースが増えてきていることを踏まえ、現在の地域住民同士の繋がりを把握していく必要がある。課題解決に向かって、区役所・基幹相談・民生委員・近隣住民・地域で働く人(新聞社等)などと連携し、住民同士の繋がりがどのくらいあるのかを地域住民同士が現状把握するため、「住民ささえあいマップ」などを活用し、身近な範囲である自治会や、それよりも小さい単位で共有できるよう働きかける。
	<input type="checkbox"/> ■	認知症について当事者が抱えている課題や困りごとについて、直接思いを聞くことができていない現状がある。本人の思いを聞いていくことが、チームオレンジ事業を推進していく上でも必要となる。昨年度に引き続き、今年度も「認知症になんでも安心して暮らせるまち」を目指し地域住民や地域にある企業や事業所などとワンチームとなり、ネットワークの構築に努める。当事者や家族と一緒に話し合える場(チームオレンジ検討会)や、子供達や地域住民に向けての働きかけを地域の学校との連携やRUN伴への参加を通じ、啓発活動に取組み、地域全体の認知症に対する意識の向上を図る。
	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和7年度 横浜市南希望が丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組 計画	貸館については横浜市のルールに従い公平な施設利用をおこないます。平等な割り振り、空き情報の提示等、利用される方が分かりやすい配慮をおこないます。 介護保険事業者を選ぶ際には、相談者、介護事業所に対しても公正中立を保ち、本人や家族がサービスの選定や意思決定が出来るように情報の提供をおこない支援方法を一緒に検討を致します。	事故防止マニュアルに基づいた対応をおこないます。緊急時の連絡場所や連絡先を明確にし、責任者が不在であっても迅速に対応できるようにします。 個人情報保護研修、ケアプラザ用のチェックシートを実施しながら業務の見直しをおこない事故防止に努めます。他施設での事故も職員間で共有し未然防止に取り組みます。 備品管理については、備品管理簿の確認をし、必要な手続きをおこない正しい情報の更新をおこないます。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要支援1.2、事業対象者と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成し、作成にあたっては、サービス利用後の生活がイメージできるような明確な目標設定を行い、行動意欲を高め、本人の主体性を尊重します。また、委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携及び支援を行います。	要支援・要介護認定を受けた方を対象に居宅介護支援事業を提供します。地域包括支援センター併設の事業所として、地域との関わりを深め、ケアマネジメントを通じた地域貢献を目指します。運営規定に則り、適正な事業運営を行います。
利用 料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】 原則として利用者の負担はありません。事業所の担当地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)を請求します。</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】利用者の選択により通常の事業実施地域以外で居宅を訪問して指定居宅介護支援を行う場合には、それに要した公共交通機関利用料金の支払いが必要。</p>
職員 体制	管理者 主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務) 保健師等 1名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務)	管理者・主任介護支援専門員 1名(常勤兼務)、介護支援専門員 3名(常勤専従2名・常勤兼務1名)
契約 者数	260人	135人

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			

実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】	【その他料金】
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度 横浜市南希望が丘地域ケアプラザ
収支予算書及び報告書（一般会計）<（参考）地域活動交流>

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	21,805,099	0	21,805,099	0	21,805,099	横浜市より
内 受領額	21,805,099		21,805,099		21,805,099	
訳 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代	0		0		0	
内 自動販売機手数料	0		0		0	
訳 その他	0		0		0	
その他			0		0	
収入合計	21,805,099	0	21,805,099	0	21,805,099	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,674,236	0	12,674,236	0	12,674,236	法人本部経費を含まない
内 本俸	11,184,236		11,184,236		11,184,236	
内 社会保険料	1,300,000		1,300,000		1,300,000	
内 手当計	100,000		100,000		100,000	
内 健康診断費	40,000		40,000		40,000	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
内 退職給付引当金繰入額	50,000		50,000		50,000	
内 その他	0		0		0	
事務費	2,786,000	0	2,786,000	0	2,786,000	法人本部経費を含まない
内 旅費	40,000		40,000		40,000	
内 消耗品費	554,440		554,440		554,440	
内 会議賄い費	0		0		0	
内 印刷製本費	30,000		30,000		30,000	
内 通信費	700,000		700,000		700,000	
内 使用料及び賃借料	360,560	0	360,560	0	360,560	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支	10,560		10,560		10,560	
訳 その他	350,000		350,000		350,000	
内 備品購入費	200,000		200,000		200,000	
内 図書購入費	0		0		0	
内 施設賠償責任保険	0		0		0	
内 職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
内 振込手数料	10,000		10,000		10,000	
内 リース料	10,000		10,000		10,000	
内 手数料	10,000		10,000		10,000	
内 地域協力費	0		0		0	
内 公租公課	1,000	0	1,000	0	1,000	
内 事業所税	0		0		0	
内 消費税	0		0		0	
訳 印紙税	0		0		0	
内 その他	1,000		1,000		1,000	
内 その他	800,000		800,000		800,000	
事業費	986,000	0	986,000	0	986,000	法人本部経費を含まない
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	986,000		986,000		986,000	
訳 その他			0		0	
管理費	4,904,863	0	4,904,863	0	4,904,863	法人本部経費を含まない
内 光熱水費	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
内 清掃費	300,000		300,000		300,000	
内 機械警備費	60,000		60,000		60,000	
内 設備保全費	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
内 空調衛生設備保守	150,000		150,000		150,000	
内 消防設備保守	100,000		100,000		100,000	
内 内 電気設備保守	300,000		300,000		300,000	
訳 害虫駆除清掃保守	100,000		100,000		100,000	
内 駐車場設備保全費	150,000		150,000		150,000	
内 その他保全費	200,000		200,000		200,000	
内 共益費	0		0		0	
内 その他	544,863		544,863		544,863	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検	0		0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他		0	0		0	
内 その他						
支出合計	21,805,099	0	21,805,099	0	21,805,099	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	986,000	0	986,000	0	986,000
自主事業 支出	△ 986,000	0	△ 986,000	0	△ 986,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 横浜市南希望が丘地域ケアプラザ
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括等＞

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	26,733,857	0	26,733,857	26,733,857	0	横浜市より
内 受領額	26,733,857		26,733,857		0	
訳 戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	200,000		200,000	200,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,180,328		6,180,328	6,180,328	0	横浜市より
内 受領額	6,180,328		6,180,328		0	
訳 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0	0	0	
訳 自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	1,156,000		1,156,000	1,156,000	0	
収入合計	34,424,183	0	34,424,183	0	34,424,183	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,249,183	0	30,249,183	0	30,249,183	法人本部経費を含まない
内 本俸	25,609,183		25,609,183		25,609,183	
内 社会保険料	3,500,000		3,500,000		3,500,000	
内 手当計	600,000		600,000		600,000	
内 健康診断費	40,000		40,000		40,000	
内 勤労者福利共済掛金	0		0		0	
内 退職給付引当金繰入額	500,000		500,000		500,000	
内 その他	0		0		0	
事務費	1,428,000	0	1,428,000	0	1,428,000	法人本部経費を含まない
内 旅費	30,000		30,000		30,000	
内 消耗品費	260,440		260,440		260,440	
内 会議精い費	0		0		0	
内 印刷製本費	40,000		40,000		40,000	
内 通信費	100,000		100,000		100,000	
内 使用料及び賃借料	310,560	0	310,560	0	310,560	
内 内自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560		10,560	
内 その他	300,000		300,000		300,000	
内 備品購入費	200,000		200,000		200,000	
内 圖書購入費	0		0		0	
内 施設賠償責任保険	0		0		0	
内 職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
内 振込手数料	10,000		10,000		10,000	
内 リース料	110,000		110,000		110,000	
内 手数料	10,000		10,000		10,000	
内 地域協力費	0		0		0	
内 公租公課	5,000		5,000		5,000	
内 事業所税						
内 消費税						
内 印紙税	4,000					
内 その他	1,000					
事業費	1,408,000	0	1,408,000	0	1,408,000	法人本部経費を含まない
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	109,000		109,000		109,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000		200,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	
内 その他			0		0	
管理費	1,215,000	0	1,215,000	0	1,215,000	法人本部経費を含まない
内 光热水費	725,000		725,000		725,000	
内 清掃費	80,000		80,000		80,000	
内 機械警備費	20,000		20,000		20,000	
内 設備保全費	240,000	0	240,000	0	240,000	
内 空調衛生設備保守	40,000		40,000		40,000	
内 消防設備保守	10,000		10,000		10,000	
内 電気設備保守	80,000		80,000		80,000	
内 寄虫駆除清掃保守	20,000		20,000		20,000	
内 駐車場設備保全費	40,000		40,000		40,000	
内 その他保全費	50,000		50,000		50,000	
内 共益費			0		0	
内 その他	150,000		150,000		150,000	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算：指定額
その他			0		0	法人本部経費を含まない
支出合計	34,424,183	0	34,424,183	0	34,424,183	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	30,000	0	30,000	0	30,000
自主事業費 支出	778,000	0	778,000	0	778,000
自主事業 収支	△ 748,000	0	△ 748,000	0	△ 748,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560 目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

令和7年4月1日～令和8年3月31日
(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
	介護保険収入			0	3,000		3,000	22,001		22,001			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	3,000	0	3,000	22,001	0	22,001	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	16,803		16,803			0			0
	事務費			0	122		122	1,210		1,210			0			0
	事業費			0			0	61		61			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	122	0	122	18,074	0	18,074	0	0	0	0	0	0
	収支(A)-(B)	0	0	0	2,878	0	2,878	3,927	0	3,927	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催 (1と2)	5 : 共催 (1と3)		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催 (2と3)	7 : 共催 (1と2と3)					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者 (複数選択可)	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
1	親子のフリースペース	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て支援の一環として、地域の子育て中のママたちの交流と、遊び場の提供を目的とします。	3: 養育者及び乳幼児		親子のフリースペースとして多目的室を開放します。年12回 毎月第3月曜日9時30分～11時	0	0	0	0
2	子育てサロン mam-mam	平成26年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	0歳児から未就学児の親子を対象に親子の交流の場と、ママ同士の交流、ヨガをすることでママのリフレッシュを図ることを目的とします。	3: 養育者及び乳幼児		前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催します。年10回 毎月第2金曜日9時30分～11時	0	0	0	0
3	えほんとわらべうたのひろば	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	絵本の読み聞かせやわらべうたを通し、親子の心と体の交流を育むとともに、ママ同士や地域のボランティアとの交流の場を提供し、育児中の孤立感の軽減を目的とします。	3: 養育者及び乳幼児		前半はボランティアによるわらべうたと絵本の読み聞かせ、後半はフリースペースとして場所を提供し、ボランティアとの交流や参加者同士の交流の場として開催します。年11回 毎月第4水曜日10時～11時開催。	0	0	0	0
4	ゆったり体操教室	平成25年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	立って運動することが難しくなってきた方を対象に、座位での介護予防を目的とした体操教室を開催します。	1: 高齢者		イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を行います。年22回(1月、2月は1回) 毎月第2・4水曜日 9時30分～11時00分	0	0	0	0
5	うたってわくわく	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民(主に中高年)を対象に歌を歌うことで健康増進、また横の繋がりが持てる交流の場の提供を目的とします。	5: 地域	1	季節に合わせた歌や昔懐かしい歌を口ずさんだり、音楽と脳トレを掛け合わせたプログラムを行います。年11回(1月は開催なし) 10時00分～11時30分	0	0	0	0
6	ふらっとサロン	平成21年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民の交流の場の提供と、ボランティア活動の場を提供する目的で開催します。	4: 子ども・青少年		ゆったりとお茶を飲みながら地域住民同士の交流のできる場を提供します。年12回第2日曜日 13時～15時	0	0	0	0
7	みんなでポッチャ!	令和5年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民同士の交流の場の提供を目的とします。障がいをお持ちの方でも気軽に参加していただき、地域との繋がりをもつきっかけづくりを目的とします。	5: 地域		ポッチャで体を動かし、地域住民同士の交流を図ります。年12回 13時30分～14時30分	0	0	0	0
8	登録団体説明会	平成25年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザを利用されている団体向けに、部屋貸し利用についてや、緊急時避難経路について理解を図ることを目的とします。	5: 地域		貸館の申込みや利用方法、緊急時避難経路、福祉保健活動について説明を行います。日頃利用されている皆さんからご意見を伺う時間を設けます。6月	0	0	0	0
9	ケアプラ祭り	平成23年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	日頃の感謝の気持ちを込めて開催します。ケアプラザを利用していない地域の方にも、ケアプラザに足を運んでいただき、ケアプラザを知っていただくことを目的とします。	5: 地域		子ども向けのコーナー、ステージコーナー、障害事業所の販売コーナー等を設けます。またボランティア活動の場の提供を行います。11月実施	0	0	0	0
10	みんなで大掃除会	平成21年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	登録団体の区分Ⅱの団体を対象に、福祉保健活動の活動の場を提供することを目的とします。	5: 地域		日頃使用している部屋の清掃をしていただきます。12月実施	0	0	0	0
11	ボランティアの集い	平成21年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	ケアプラザ事業等で活動をされているボランティアを対象に、日頃の活動の感謝を伝えると共に、ボランティア同士の交流を目的とします。	5: 地域		様々な事業等で活動されているボランティア同士の交流が図れるよう実施します。ボランティアに関わる職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図ります。3月実施	0	0	0	0
12	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	平成23年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	65歳以上の方を対象に、ボランティア活動や地域活動の参加のきっかけづくりと、すでに活動をされている方で65歳を超えた方へのシニアボランティアポイントの周知を目的とし、登録研修会を開催します。	1: 高齢者		よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を実施します。ケアプラザ自主事業等でボランティア活動をしている方、また始めるようとしている方、また広く地域一般の方を対象にケアプラザ新聞を通じて周知を行います。3月実施	0	0	0	0
13	木工工作(仮)	令和6年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夏休みの特別企画として小学生対象に開催。	4: 子ども・青少年		障がい事業所の旭カンパニーさんにご協力いただき、木工工作としてスマートボールを作ります。8月5日、6日実施	0	0	0	0
14	こども薬剤師体験	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の小学生を対象として薬に対する正しい知識を持つことと、将来の仕事の一つとして「薬剤師」という仕事があることを知る機会とします。また保護者の方にもケアプラザを知って頂くきっかけとします。	4: 子ども・青少年		旭区薬剤師会との共催により、薬剤師と大学院生により開催します。多様な実験を含んだ講義により、小学生が薬に対して興味や正しい知識を得られる場とします。9月実施	0	0	0	0
15	乳幼児救命救急教室	令和6年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	乳幼児の子育て世代を対象に、いざといときの対処方法を学び、日常に活かしてもらうことを目的として開催します。	3: 養育者及び乳幼児		さちが丘消防出張所にご協力いただき、心肺蘇生やAEDの使い方、誤飲・発熱・けいれん時などの対処方法を学びます。2月実施	0	0	0	0

■事業				■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者 (複数選択可)	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
16	バッグ作り(仮)	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの特別企画として小学生対象に開催。地域のボランティア活動の場の支援を目的とする。	4:子ども・青少年		ジートバッグに飾りを自由についてオリジナルバッグを作る。7月	0	0	0	0
17	カローリング	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民同士の交流と健康づくりの場の提供を目的とします。	5:地域		カローリングで体を動かし、地域住民同士の交流を図ります。9月	0	0	0	0
18	つながろうプロジェクト 南希望が丘ケアラザエリア	平成29年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	障害のある方が地域で安心して生活できるまちづくりに向けて、地域住民と障がいのある方との相互理解を深めることを目的としています。	6:事業者	5	地域の代表者・エリアにある障害事業所の代表者・社協の会長・民児協の会長が集まり、お互いの抱える問題や課題について情報の共有を行います。不定期	0	0	0	0
19	きぼうファーム	平成28年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取組の一環として実施します。「きぼうファーム」を通じて、障害児者やご家族と交流を図り、顔の見える関係づくりや相互理解を深めることを目的とします。	2:障害児・者	5	障害児者余暇支援事業として、野菜の収穫祭、わくわくスポーツ会などを実施します。6月、11月、2月実施	0	0	0	0
20	こどもの居場所かけはし	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	不登校の小学生・中学生を対象に、学校にも家庭にも居場所がないと感じる子どもたちが、安心して過ごせる場の提供を目的としています。	4:子ども・青少年	5	一般社団法人かけはしとの共催。地域のボランティアと共に、不登校の子供たちの居場所としてケアラザの場を提供しています。ボランティアと関わることで、子ども達の自己肯定感を感じられる経験を積み重ねていきます。年23回実施 第1、3、第5火曜日(長期休みを除く)9時30分～11時30分	0	0	0	0
21	旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展	平成24年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域ケアラザについてブース来場者に知りたい方ための機会とする。	5:地域		・パネル展示 ・地区別計画及びケアラザ広報紙の配布 ・ミニゲーム企画 ・啓発グッズ配布 10月実施	0	0	0	0
22	介護保険制度の基礎知識と活用講座	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	介護保険制度の仕組みや、介護保険サービスの種類と内容、利用するための手続きなど介護保険の基本をお伝えする講座です。	5:地域	1	南希望が丘地域ケアラザ、地域包括支援センターの小谷が講義を担当します。介護保険の仕組みをハートページを用いながら詳しく説明します。希望が丘地区在住の方へ向け、希望が丘地区センターで開催予定 9月実施	0	0	0	0
23	ミ・ディ	平成21年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	音楽を楽しんだり、工作による手作業、脳トレや体を軽く動かすミニ運動会などの介護予防の要素を盛り込んだ事業に月1回程度参加することで、高齢者の閉じこもりを防止し、仲間づくりの機会にすることを目的とします。	1:高齢者		季節にちなんだテマに沿って、音楽活動や工作活動、体操およびレクリエーション活動、外出レクを行い、閉じこもり防止と外出の機会・他者交流の機会の提供、介護予防に取り組んでいます。毎月第2又は第3曜日(8月除く)年11回実施。	0	0	0	0
24	介護者の集い	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の介護者を対象に、施設協力医のアドバイスも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、介護に役立つ情報の提供、介護の悩みや疲れを共有できる場づくりを目的とします。	5:地域		介護者同士の交流や情報交換を行い、介護者の精神的負担の軽減、介護者の心の支えとなる場づくりを行っていきます。毎月第2水曜日(8月除く)年11回実施。	0	0	0	0
25	シニアサポートーひまわり	平成25年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	介護予防事業のボランティアとして活動できるスキルを学ぶことで、自分たちの生きがいや地域の掛け手になっていく気持ちが育つように、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターが協働して支援を行います。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「南希の森」継続に向けて、活動内容や自分たちに出来る介護予防普及啓発活動を身に付けていけるよう支援していきます。また、介護予防教室開催に向けて、ボランティア活動ができるスキルが身に付くよう支援していきます。勉強会:年3回程度 活動:月4回程度	0	0	0	0
26	免疫力アップ教室	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	年を重ねることでおきるフレイルを予防するため、運動の機会を持つと共に栄養や口腔機能の維持改善の重要性を学ぶとともに、地域の方との交流の場としていきます。	1:高齢者	5	外出時自粛に伴いフレイル傾向に陥っている方が元気に過ごしていただけるように、フレイル総論に関する啓発を行なうとともに、ゆるく体を動かす運動から、運動習慣が身に付く教室を開催します。運動、栄養、口腔機能向上について学んで頂くとともに交流の場とします。5月～1月(8月を除く)全8回 第3木曜日10時～	0	0	0	0
27	ウォーキングで筋活	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	坂道が多いという地域のため、下肢筋力が低下すると外出することが難しくなります。いつまでもご自身の足で歩き生活が楽しめるよう、歩くことで下肢筋力のアップに繋がる歩き方を学んでいただきます。	1:高齢者	5	姿勢を整えるところから学び、歩くことで下肢筋力だけでなく全身の筋力アップを行い、健康寿命を延ばす運動の機会とします。毎日の歩行が筋トレの機会に変われるよう歩行について学ぶ教室です。全4回(6月、7月、10月、11月 第1木曜日 10時～)	0	0	0	0
28	元気づくりステーション「南希の森」	平成25年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアラザと区が協力体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていくよう支援しています。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「南希の森」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週火曜日10時～11時	0	0	0	0

■事業				■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催 (1と2)	5 : 共催 (1と3)		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催 (2と3)	7 : 共催 (1と2と3)					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者 (複数選択可)	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
29	元気づくりステーション「ヒルズのわ」	平成27年度	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていくよう支援しています。	1: 高齢者	5	元気づくりステーション「ヒルズのわ」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日10時～11時	0	0	0	0
30	元気づくりステーション「ホープの友」	平成28年度	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていくよう支援しています。	1: 高齢者	5	元気づくりステーション「ホープの友」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日14時～15時半	0	0	0	0
31	元気づくりステーション「中の原の和」	平成30年度	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていくよう支援しています。	1: 高齢者	5	元気づくりステーション「中の原の和」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。第1・3月曜日14時～15時	0	0	0	0
32	公園deラジオ体操	令和4年度	6: 共催 (2と3)	2: 発展させるねらい	希望が地区第4期地域福祉計画の目的B1「身近なところからうまれるつながり」を目標としています。希望が丘町内会の中心的な場所である公園で誰もが気軽に立ち寄れ集まれるコミュニティの場となるよう働きかけ、地域住民の自主的な取り組みとなるよう支援します。	5: 地域	1 4 5	ラジオ体操第1と第2を希望が丘ふれあいの森公園で週1回開催します。地域の幼稚園との交流も図ります。 毎週木曜日 10時～	0	0	0	0
33	横浜市チームオレンジ事業「南希望が丘地域ケアプラザチームオレンジ」	令和4年度	7: 共催 (1と2と3)	1: 優先的に取り組み	認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、ケアプラザが職種がコーディネーター機能をいかし、地域とともにチームオレンジを作ります。今年度は子供や働き世代への啓発、当事者の気持ちを知ることをテーマに事業を展開していきます。	5: 地域		①中学校、小学校での認知症理解講座、②グループホーム入居者との対談、③RUN伴への参加、④チームオレンジ検討会、⑤認知症についての講演会等、新たな企画とこれまでの企画を継続しながら事業を展開していきます。①6月、未定②6～9月③11月実施④9月、2月実施⑤3月実施	0	0	0	0
34	司法書士無料相談	令和元年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民に対し、成年後見制度の手続きや遺言作成、相続問題等について法律の専門職の支援を身近に受けることができる機会を提供すると共に、ケアプラザと権利擁護機関との連携を強化することを目的とします。	5: 地域		司法書士の先生による無料の個別相談を実施していきます。 奇数月第2木曜日 年6回実施	0	0	0	0
35	行政書士無料相談会	令和7年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民が、行政書士の相談を身近なケアプラザで受けられるように、司法書士の無料相談とあわせて、切れ目ない個別の相談の機会を増やします。	5: 地域		行政書士の先生による無料の個別相談会を、実施していきます。 偶数月第4木曜日 年6回実施	0	0	0	0
36	旭区版エンディングノート活用講座	平成29年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	旭区版エンディングノートの書き方を学ぶことで、これまでの生活を振り返り、地域住民がこれから的生活を安心して豊かに過ごせるための様々な知識を得る事を目的とします。	5: 地域		旭区版エンディングノートの紹介に合わせて、成年後見制度・葬儀・相続・不動産等について触れ、エンディングノートを書く意味を理解してもらうよう、実施します。講師に司法書士、行政書士、不動産会社の方をお呼びし、身近な相談機関としての周知も行います。ケアプラザと地区センター2か所で開催予定。 年2回実施(2～3回コース)	0	0	0	0
37	消費者被害防止講座	令和元年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民が、頻発している振り込め詐欺等の悪質商法被害の実態を理解し、被害にあわないための知識、解決のポイントを学び、被害防止ができる目的とします。	1: 高齢者	5	両地区の老人クラブと共に、地域の皆さんにより声が届くよう、地域と連携して講座を開催します。防犯演劇や旭警察生活安全課等に講師を依頼し、消費者被害防止について講義を行います。年2回実施(地区センター、ケアプラザ)	0	0	0	0
38	希望が丘南地区ジュニアボランティア養成講座	平成27年度	4: 共催 (1と2)	1: 優先的に取り組み	希望が丘南地区のジュニアボランティアを対象に、ケアプラザの役割や高齢者・認知症、障害などについての理解を深めてもらい、ボランティア活動につなげることを目的とします。	4: 子ども・青少年		福祉に対しての理解を深めるため、高齢者や認知症、障害等についての講義の実施や福祉体験を実施します。 年1回実施 8月	0	0	0	0
39	希望ヶ丘地区ちょっとした困りごとを考える会	令和6年度	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	高齢化が進む中、相談件数が増大しています。地域の困りごとを解決するにはフォーマルな介護サービスだけでは難しくなっています。危機感を感じている希望が丘地区的皆さんとともに地域住民主体の生活支援サービスを地区の資源として創設していきます。	5: 地域	1	老人会の方を中心とした自治会長や地域住民とともにまずは話し合いの場を作り、現状の課題を把握して、どのようなサービスを作り出していくか検討してきます。 未定	0	0	0	0
40	出張講座承ります！	令和6年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザまで来ることが大変な方も多いいらっしゃる中、地域の老人会や団体の活動場所に出向き、知っておいてもらいたい内容をテーマにして、地域の皆さんへの情報提供を目的とします。	5: 地域	1	終活、エンディングノート、悪徳商法、認知症、介護保険、フレイル予防など、様々な内容をテーマに聞きたい内容を決めてもらい、包括職員による出張講座を行います。老人会や活動団体からの申込制とします。	0	0	0	0

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1 : 地域活動交流事業 3 : 生活支援体制整備事業 6 : 共催 (2と3)	2 : 地域包括支援センター運営事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3) 7 : 共催 (1と2と3)	1 : 優先的に取り組みが求められる事業 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業
		1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者 7 : その他